





▲ 6/13 “社明”金沢市推進委員会



“社会を明るくする運動”

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動である。



社会を明るくする運動  
シンボルマーク

第62回  
社会を明るくする運動  
期間/7月1日~7月31日



▲ かわいい指揮者君♪



▲ 7/1 JR金沢駅にて出発式



観察所長も  
街頭広報活動



▼ 県警音楽隊による  
オープニングセレモニー



▼ みんな笑顔



再出発を見まもり、  
支える社会に。

相談できる人がいる。帰る場所がある。  
むかえる気持ちがある。  
あまちからの再出発を後押しします。  
黄色い羽根であなたも参加しませんか。



▼ 7/28 北金沢まつり



◀ 8/4  
イオンもりの里



▼ 7/29 西分区アルプラザ前



7/9  
浅野川中  
あいさつ運動



8/4  
イオンタウン金沢示野



▲ 7/2  
野田中学校  
あいさつ運動



▲ 7/17  
弥生地区  
青少年健全  
育成講演会

▲ 7/19  
小立野地区  
お話の夕べ



▲ 7/19  
安原地区青少年健全育成講演会

▲ 7/27 崎浦地区  
お話しの夕べ



7/12  
緑中学校  
あいさつ運動

▲ 7/12 港中学校 あいさつ運動

# 各分区の社明活動

## “社会を明るくする運動” のはじまり

戦後間もない昭和24年頃、貧困からくる子供達の非行が、大きな社会問題となっていました。そのとき、東京・銀座商店街の延べ2,000人もの人々が立ち上がり、「不幸な子供達を救ひませう」の立看板を掲げ、真夏の炎天下、犯罪予防と少年保護を訴える「銀座フェア」を開催しました。この市民の活動がきっかけとなって、昭和26年から、法務省主唱の「社会を明るくする運動」が始まるのです。

# 公開ケース研究会

南東分区 野市 猛

第六十二回「社会を明るくする運動」の二環として、七月四日(水)金沢市教育プラザ富樫に於いて、各種関係団体より約百二十名参加

でケース研究会が開催されました。今回は、現在の社会問題となっている「有害サイトについて」<sup>※</sup>大人も子供も知らないネットの怖さ<sup>※</sup>を金沢中警察署生活安全課の和田出

淑子氏に講演していただきました。いつでも誰でも、すぐにインターネットを使える便利な時代ですが、反面①嘘か本当かわからない

たくさんの情報。

②書き込み、投稿に関するトラブル。③あちこちに仕組まれた

ワナ。④見知らぬ人との危険な

出会いなどの問題点も非常に多

くなっている。特にスマートフォン

が出てきてから一層の危険を

している。購入時にはフィルタ

リングをかけてあるが、親をう

まく言いにくくてそれを外させ

る子供もいる。子供達がアクセ

スしやすい有害サイトには、出会い系・薬物・残虐・家出・自殺・

アダルト・コミュニティ(チャット・掲示板等)があり、コミュニ

ティでは誹謗中傷、個人情報や画像の掲載、犯行予告、いたずら書き込みがあり、最近では書き込みを巡るトラブルが多発して殺人事件まで発生している。特に怖い個人情報

の掲載は、①犯罪に利用される。②嫌がらせや脅迫を受ける。③迷惑メールが来る。④写真や個人情報

を無断で公表される。例えば、携帯等でデジタル写真を交換すると、写真はいつまでも保存でき、さらにどんだん複写も転送も

できる。また顔写真を載せると悪用され、出会い系に登録されたり

もする。管理人がしっかりしているサイトでも、個人情報を教えない、会わない、信用しないことが

求められる。もし自分の事を書き込みされた場合は、掲示板の管理人へ削除依頼するとともに無視する

のが賢明である。

インターネットで忘れてならぬのが①公開性。ネットは世界中に公開されているので要注意。②

コピー・保存・転送。別のサイトに転送されることも。③追跡性。

嘘の名前で書き込みしても絶対追跡されるシステムになっている。以上のことを踏まえ、子供に携帯を持たせる時は、毎月の利用料金を設定し、有料サイトは使わせない。フィルタリングは絶対外さず、個人情報

を絶対教えない、書き込む時は言葉遣いに気をつける等を最低限守らせねばならない。

これらの多くの事を学び、伝えて行かねばと感じた有意義なひと時でした。



7月4日(水) 教育プラザ富樫



②書き込み、投稿に関するトラブル。③あちこちに仕組まれたワナ。④見知らぬ人との危険な出会いなどの問題点も非常に多くなっている。特にスマートフォンが出てきてから一層の危険を



会場に展示された歴代の広報ポスター(新矢政紀保護司 所蔵)

分区だより

南  
西  
分  
区

地域の連携強化

中村 健二

六月二十九日、米丸公民館で米丸校下保護司、更生保護女性会合同の研修会を開催しました。社会を明るくする運動の啓発として毎年開催しています。金沢保護観察所牧野統括官、校下諸団体代表の方々にも御出席頂き、五十人余りで立直りを支える地域作りについて話し合いました。

又、社会貢献活動の意義についても真剣に討議され、対象者が社会参加の喜びを味わえるような機会を多く作ろうと、参加者一同誓い合いました。

続いて、石川県技能士会会長 川元傳氏の講演「金沢城の復元、価値と魅力」に移り、先頃の金沢城櫓の復元工事に際し、県の伝統



技術、人、材料を縦横に駆使し、見事完成に至った経緯をお聞きました。大変なご苦労があった様です。

最後に「ものづくりは人づくり」とか。ふるさとバンザイ！

北  
分  
区

北分区保護司と北地区更生女性会  
合同研修会から

中井 義弘



八月十日(金)午後一時半から鳴和台体育館会議室に於いて、川原観察官より「更生保護」について、詳しいお話がありました。

保護司(全国で約五万人、金沢市二百人)とは、法務大臣から委嘱されたボランティアであり、保護観察官に協力して、保護観察、生活環境の調整、犯罪予防活動等を行っています。更生保護女性会(全国で約十九万人、金沢市一、五二九人)とは、女性の立場から犯罪者、非行少年の更生保護及び犯罪予防に協力し、犯罪のない明るい社会の実現に寄与することを目的とする女性ボランティア団体です。

三十六名が参加した討論では、活発な意見が出されました。実り多い関係構築に積極的に参加し、顔の見える関係を作る、あるときは主役、あるときは協力者として共に活動をする事を再確認し、この会を閉じました。

金  
石  
分  
区

あいさつ運動「大徳中学校訪問」

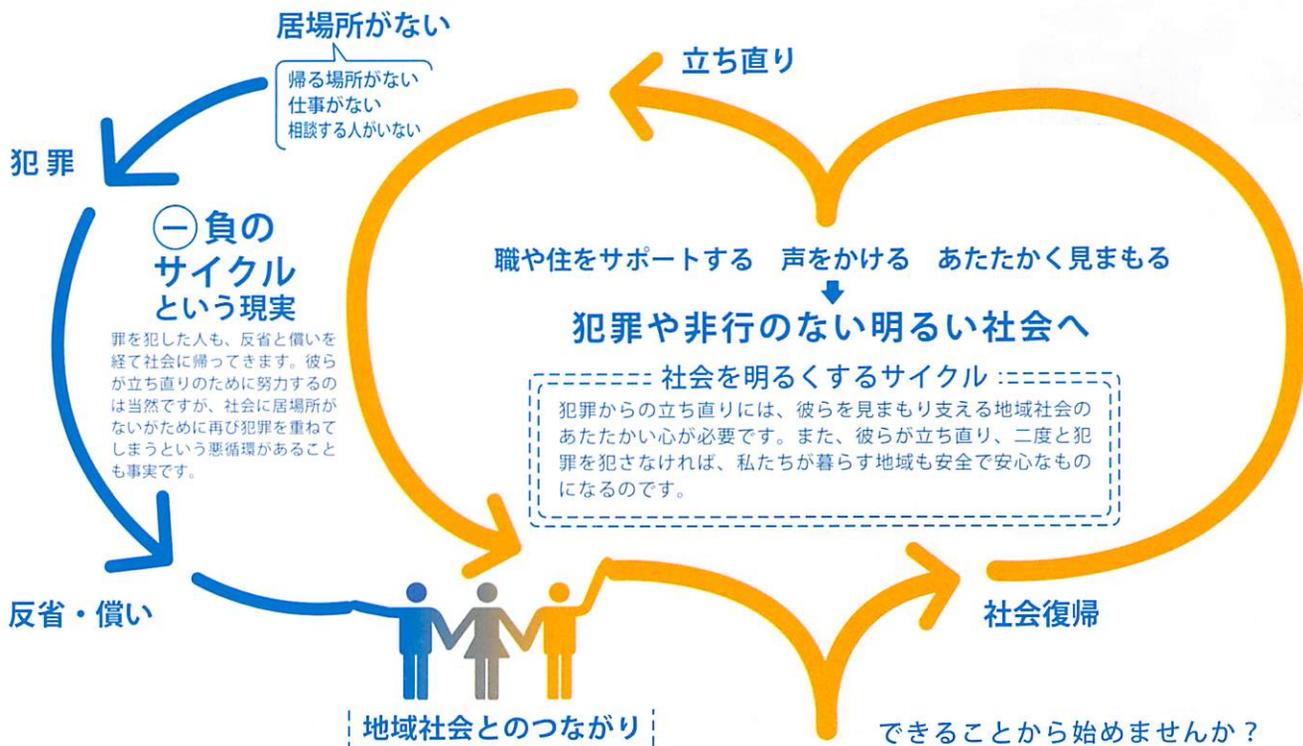
干場 智子

七月十八日、大徳中学校で挨拶運動が行なわれました。校務士さんが早朝の水やりなど丹精込めて育てている花壇の花も生き生きと、生徒を迎えてくれます。校門を入る時生徒は立ち止まり、校舎に向け一礼をします。生徒会、リーダー会の生徒、教職員、保護司会の人達が生徒達一人一人に「おはようございます」と、声をかけると、元気な声で、「おはようございます」と答える生徒、うつむきかげんで少しながら答える生徒もいました。朝から大きな声で挨拶ができる



ことは、一日明るい時間を過ごすことができる気もしました。これからも犯罪のない明るい社会にむけて、人と人が出会えば、必ず立ち止まり相手の目を見て挨拶ができるようになることが明るい社会への一歩につながるのだと思います。

# 犯罪が起こるサイクルを変えるのは、あなたのまなざしです。



できることから始めませんか？

刑務所に再び入所した人のうち約7割が無職



再入受刑者に占める無職者の割合

高齢者犯罪の約7割が生活苦などによる窃盗



高齢者犯罪の動機

立ち直りを支える人たち

- 保護司
- 更生保護女性会員
- BBS会員
- 協力雇用主
- 更生保護施設

犯罪からの立ち直りには、本人の努力はもちろんですが、周りの人の応援や地域の中に「居場所」があることが大きな後押しになります。立ち直ろうとする人を受け入れ、支える方法は様々です。何ができるかを一緒に考え、できることから始めてみましょう。

◎黄色い羽根は“社会を明るくする運動”への理解と協力のあかしです。

- |       |      |     |      |       |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       |      |      |       |      |       |       |      |
|-------|------|-----|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|------|
| 前田真知子 | 藤村建雄 | 判三教 | 西村清司 | 西野健太郎 | 中山和良 | 中村繁夫 | 中川秀道  | 戸出克彦 | 土田貴夫 | 塚野良平 | 高光一雅 | 高廣幸悠 | 高尾升道 | 越野外至雄 | 久保恵美子 | 加原和夫 | 乙田久勝 | 大橋長阿弥 | 円地信二 | 宇野のり子 | 市川久美  | 朝倉雅子 |
| 宮本玲子  | 千田浩  | 藤井肇 | 野村美樹 | 西房浩二  | 西川哲典 | 中村桂翠 | 中川トシ子 | 中川琴鈴 | 鶴見保次 | 薦健三  | 田中慶一 | 高光一生 | 高畠紫香 | 紺谷力   | 蔵明雄   | 喜多岡修 | 堅田治子 | 奥田きく子 | 大橋吉郎 | 江守マリ子 | 内田佳代子 | 阿部寿雪 |

第三十五回 「有名作家チャリティ作品展」の出品者御芳名(順不同)

第35回  
**有名作家  
チャリティ作品展**  
めいてつエムザ2階「エムザギャラリー」  
平成24年7月4日(水)～7月9日(月)



発行者  
金沢市西念三丁目四番一号  
金沢保護区保護司会  
会長 若林 茂樹

発行日  
平成二十四年九月三十日

猛暑の夏、節電の夏、オリンピックに燃えた夏、その中で行われたさまざまな活動の一部を、お知らせしました。それらの活動が、秋の実りにつながることを祈ります。

編集後記

以上、金沢保護区保護司会関係者からお願い致しました方々です。御協力ありがとうございました。

三輪由紀子 村上 秀康  
森 左馬尉 藪内 公美  
山口 知鳳 山本 桂華  
山本織乃子 吉元 久雄